

令和3年度 学習案内（シラバス）

教科	社会科	学年	1	指導者	古屋 照江 ・ 市川 菜
----	-----	----	---	-----	--------------

◇社会科の目標

<p><b>【地理的分野】</b> 地域の事象や地域的特色を理解するとともに、情報を効果的に調べ、まとめ、思考・判断したことを説明したり、議論する力を養い、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚を深める。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史を背景に、諸資料の読み取りから得た情報を踏まえて理解し、それを通して歴史的事象の相互の関連性に広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を持つ。</p>
--

◇1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	<b>【地理】</b> 1編1章 世界の姿	10	<b>【地理】</b> 2編2章 世界の諸地域
5	1編2章 日本の姿	11	
6	2編1章 世界各地の人々の生活と環境	12	
7	<b>【歴史】</b> 1章 歴史へのとびら	1	<b>【歴史】</b> 3章 中世の日本
8	2章 古代までの日本	2	
9		3	

◇評価方法

評価の観点（身に付けたい力）		評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解する。</li> <li>調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する。</li> <li>社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>

◇学習のアドバイス

<p><b>【予習】</b> 教科書や資料に目を通し、分からないところをチェックしておく。（プリントがある場合は教科書などを活用して、できるところまでやってみる。）</p> <p><b>【授業】</b> 教科書・ノート・資料・ワーク（プリント）を絶対に忘れない。学習課題について教科書や資料を活用して調べたり、話し合ったりして自分の考えを深め、まとめる。積極的に発表する。</p> <p><b>【復習】</b> 授業後（毎回または一週間ごと）学習課題に関するまとめを見直し、必要があれば修正する。教科書を一度読み、学習範囲のワークやってみる。</p> <p><b>【定期テスト前】</b> 教科書をよく読み、太字の用語の意味を書き出す。ワークの基本問題を復習し、できないところは教科書や資料で調べる。ワークの総合問題に挑戦してみる。前回の定期テスト問題を復習する。</p> <p><b>【その他】</b> 日頃から社会の出来事に関心を持ち、できるだけ家族や友人と話題にして自分の考えを整理する。なお、レポート等の提出物は丁寧に仕上げ、期限を守って提出する。</p>
--



令和3年度 第1学年 社会科年間指導計画

学期	月	時	地理的分野	歴史的分野
1 学期	4	6	第1編 世界の姿と日本の姿 第1章 世界の姿(7) 第2章 日本の姿(6) 第2編 世界の様々な地域 第1章 世界各地の人々の生活と環境(10)	第1章 歴史へのとびら 1節 歴史をとらえる見方・考え方(4) 2節 身近な地域の歴史(2) 第2章 古代までの日本 導入(1) 1節 世界の古代文明と宗教のおこり(5)
	5	1 2		
	6	1 2		
	7	6		
評価などの予備時間(1)				
2 学期	8	1 2	第2章 世界の諸地域 1節 アジア州(7) 2節 ヨーロッパ州(5) 3節 アフリカ州(4) 4節 北アメリカ州(5) 5節 南アメリカ州(4)	2節 日本列島の誕生と大陸との交流(3) 3節 古代国家の歩みと東アジア世界(10) ○地域の歴史を調べよう(6)
	9			
	10	1 2		
	11	1 2		
	12	9		
評価などの予備時間(1)				
3 学期	1	9	6節 オセアニア州(4)	3章 中世の日本 導入(1) 1節 武士の政権の成立(5) 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開(9) まとめ(2)
	2	1 2		
	3	3		
評価などの予備時間(3)				
合計		地理(52)		歴史(48)
評価などの予備時間(5)				



令和3年度 学習案内（シラバス）

教科	社会科	学年	2	指導者	東條 瑞貴
----	-----	----	---	-----	-------

◇社会科の目標

<p><b>【地理的分野】</b> 地域の事象や地域的特色を理解するとともに、情報を効果的に調べ、まとめ、思考・判断したことを説明したり、議論する力を養い、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚を深める。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史を背景に、諸資料の読み取りから得た情報を踏まえて理解し、それを通して歴史的事象の相互の関連性に広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を持つ。</p>
--

◇1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	<b>【歴史】</b> 4章 近世の日本	10	<b>【地理】</b> 3編3章 日本の諸地域
5	<b>【地理】</b> 3編1章 地域調査の手法	11	
6	3編2章 日本の地域的特色と地域区分	12	
7		1	<b>【歴史】</b> 5章 開国と近代日本の歩み
8		2	
9	3編3章 日本の諸地域	3	

◇評価方法

評価の観点（身に付けたい力）		評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解する。</li> <li>調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する。</li> <li>社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>

◇学習のアドバイス

<p><b>【予習】</b> 教科書や資料に目を通し、分からないところをチェックしておく。（プリントがある場合は教科書などを活用して、できるところまでやってみる。）</p> <p><b>【授業】</b> 教科書・ノート・資料・ワーク（プリント）を絶対に忘れない。学習課題について教科書や資料を活用して調べたり、話し合ったりして自分の考えを深め、まとめる。積極的に発表する。</p> <p><b>【復習】</b> 授業後（毎回または一週間ごと）学習課題に関するまとめを見直し、必要があれば修正する。教科書を一度読み、学習範囲のワークやってみる。</p> <p><b>【定期テスト前】</b> 教科書をよく読み、太字の用語の意味を書き出す。ワークの基本問題を復習し、できないところは教科書や資料で調べる。ワークの総合問題に挑戦してみる。前回の定期テスト問題を復習する。</p> <p><b>【その他】</b> 日頃から社会の出来事に関心を持ち、できるだけ家族や友人と話題にして自分の考えを整理する。なお、レポート等の提出物は丁寧に仕上げ、期限を守って提出する。</p>
--



令和3年度 第2学年 社会科年間指導計画

学期	月	時	地理的分野	歴史的分野
1 学期	4	6	第3編 日本のさまざまな地域  第1章 地域調査の手法（6）  第2章 日本の地域的特色と地域区分（5）	第4章 近世の日本 導入（1）  1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一（8） 2節 江戸幕府の成立と対外政策（5） 3節 産業の発達と幕府政治の動き（9） まとめ（1）
	5	1 2		
	6	1 2		
	7	6		
評価などの予備時間（1）				
2 学期	8	1 2	第2章 日本の地域的特色と地域区分（6）	
	9		第3章 日本の諸地域	
	1 0	1 2	1節 九州地方（5） 2節 中国・四国地方（5） 3節 近畿地方（5）	
	1 1	1 2	4節 中部地方（5） 5節 関東地方（5） 6節 東北地方（5）	
	1 2	9	7節 北海道地方（5） 第4章 地域の在り方（1）	
評価などの予備時間（3）				
3 学期	1	9	第4章 地域の在り方（4）	5章 開国と近代日本の歩み 導入（1）  1節 欧米における近代化の進展（5） 2節 欧米の進出と日本の開国（4） 3節 明治維新（9）
	2	1 2		
	3	3		
評価などの予備時間（1）				
合計			地理（57）	歴史（43）
評価などの予備時間（5）				





令和3年度 学習案内（シラバス）

教科	社会科	学年	3	指導者	古屋 照江 ・ 宮本 隼一
----	-----	----	---	-----	---------------

◇社会科の目標

【歴史的分野】

我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史を背景に、諸資料の読み取りから得た情報を踏まえて理解し、それを通して歴史的事象の相互の関連性に広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を持つ。

【公民的分野】

民主主義国家の担い手として、権利と義務を正しく理解し、社会事象に関する情報を調べ、思考・判断し、まとめる技能を身につけ、国民主権を担う公民として課題の解決に関わろうとする態度を養う。

◇1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
4	【歴史】 5章 開国と近代日本の歩み	10	【公民】 3章 現代の民主政治と社会
5	6章 二度の世界大戦と日本	11	
6	7章 現代の日本と私たち	12	4章 私たちの暮らしと経済
7	【公民】 1章 現代社会と私たちの生活	1	
8		2	5章 地球社会と私たち
9	2章 個人の尊重と日本国憲法	3	終章 より良い社会と私たち

◇評価方法

評価の観点（身に付けたい力）		評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解する。</li> <li>調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する。</li> <li>社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論述やレポートの作成、発表</li> <li>ノートやレポート等の記述</li> <li>授業中の発言</li> <li>生徒による自己評価、相互評価の状況</li> </ul>

◇学習のアドバイス

【予習】教科書や資料に目を通し、分からないところをチェックしておく。（プリントがある場合は教科書などを活用して、できるところまでやってみる。）

【授業】教科書・ノート・資料・ワーク（プリント）を絶対に忘れない。学習課題について教科書や資料を活用して調べたり、話し合ったりして自分の考えを深め、まとめる。積極的に発表する。

【復習】授業後（毎回または一週間ごと）学習課題に関するまとめを見直し、必要があれば修正する。教科書を一度読み、学習範囲のワークやってみる。

【定期テスト前】教科書をよく読み、太字の用語の意味を書き出す。ワークの基本問題を復習し、できないところは教科書や資料で調べる。ワークの総合問題に挑戦してみる。前回の定期テスト問題を復習する。

【その他】日頃から社会の出来事に関心を持ち、できるだけ家族や友人と話題にして自分の考えを整理する。なお、レポート等の提出物は丁寧に仕上げ、期限を守って提出する。



令和3年度 第3学年 社会科年間指導計画

学期	月	時	歴史的分野
1 学期	4	8	第5章 開国と近代日本の歩み 4節 日清・日露戦争と近代産業（8） まとめ（1） 第6章 二度の世界大戦と日本 導入（1）
	5	15	1節 第一次世界大戦と日本（4） 2節 大正デモクラシーの時代（3） 3節 世界恐慌と日本の中国侵略（3） 4節 第二次世界大戦と日本（6） まとめ（1）
	6	17	第7章 現代の日本と私たち 導入（1） 1節 戦後日本の出発（2） 2節 冷戦と日本の発展（5） 2節 新たな時代の日本と世界（6）
	7	8	公民的分野
評価などの予備時間（2）			公民の学習の初めに 第1章 現代社会と私たちの生活 1節 現代社会の特色と私たち（5）
2 学期	8	15	2節 私たちの生活と文化（3） 3節 現代社会の見方や考え方（5）
	9		第2章 個人の尊重と日本国憲法
	10	17	1節 人権と日本国憲法（6） 2節 人権と共生社会（6） 3節 これからの人権保障（4）
	11	15	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治（7） 2節 国の政治の仕組み（10） 3節 地方自治と私たち（6）
12	12	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済（6） 2節 生産と労働（5）	
評価などの予備時間（1）			
3 学期	1	12	3節 市場経済の仕組みと金融（6） 4節 財政と国民の福祉（4） 5節 これからの経済と社会（3）
	2	16	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み（6） 2節 さまざまな国際問題（5）
	3	5	3節 これからの地域社会と日本（3） 終章 より良い社会を目指して（4）
評価などの予備時間（2）			
合計			歴史（41）
			公民（94）
評価などの予備時間（5）			

